

2025年5月30日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター
神保 宇嗣

第45回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第45回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり Zoom を利用して開催します。多くの方に参加していただくため、対面集会ではなくオンライン形式での開催にさせていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。ご参加いただける場合には、6月22日（日）までに下記の事前申し込みフォームよりお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2025年6月28日（土）13時30分～16時30分

場所：Zoom を利用したオンライン会合

事前申し込み：

<https://forms.gle/eaNLsvQJL4zMEja26>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせします。

申込締め切り：2025年6月22日（日）24時

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください。

本件に関する連絡先

国立科学博物館

神保 宇嗣・太田 藍乃・柿添 翔太郎・江守 知保

電話：029-853-8277 E-mail s-net_info@kahaku.go.jp

第 45 回自然史標本情報発信に関する研究会
－S-Net でつながる標本データ：提供と公開の実際と工夫－

サイエンスミュージアムネット (S-Net) は、全国自然史系博物館・研究機関が参加する自然史標本データ共有ネットワークです。参加機関の皆様から提供いただいた自然史標本等のデータは S-Net ウェブサイトのデータベースシステムを通じて公開されています。

標本データの提供にあたっては、各機関において様々な工夫や努力がなされているかと思えます。S-Net の立ち上げから 20 年が経過し、参加機関が 125 機関、標本等の公開データ数が 782 万件まで拡大する中で、参加機関が直面する課題も多様化してきています。参加を検討している機関の方や新たに担当になった方には、「S-Net の仕組み自体が複雑」「自館のデータ形式のまま提供可能か」、「意味・意義が不明な項目がある」、「変換ツールの使用場面がよくわからない」など、様々な疑問を抱えている方が少なくありません。長年標本データを提供いただいている機関においても、「標本データ整形の作業が煩雑」、「担当者交代時の引き継ぎが困難・不安」といった、長期的な運用に伴う課題も顕在化しています。

こうした背景を踏まえ、今回の研究会では、S-Net の基本に立ち返りつつ、提供機関での標本データの準備や提供の過程における工夫・苦勞・効率化の取り組み・課題などをご紹介します。また、S-Net 事務局から、S-Net の仕組みや、提供データのチェックおよび公開の流れについて解説いたします。さらに、会の後半では、S-Net の活動およびその活用に向けた質疑や意見交換のための時間を設け、ノウハウの共有と参加者同士の交流を深める機会といたします。これらを通じて、各機関が抱える標本データ提供に関する課題や工夫を共有し、標本データの準備作業の効率化、質の向上、さらには今後の活用へとつなげていきたいと考えています。本会合が今後の標本データ準備の一助となりましたら幸いです。

<プログラム> 13:30～16:30

- ・開会挨拶、注意事項
- ・イントロダクション：S-Net とその仕組み 神保 宇嗣 (国立科学博物館)
- ・地方中規模博物館の自然史コレクションの現状・活用と課題－アンケート結果・博物館標本から分かったこと－ 加藤 ゆき恵 (釧路市立博物館)
- ・自動入力で時短を目指したい －2 館での経験・試行錯誤から－ 安齊 千晶 (北網圏北見文化センター)
- ・GBIF サイエンスレビューの紹介 柿添 翔太郎 (国立科学博物館)
- ・データ入力基本のき－実務のチェックポイントと Q&A－ 太田 藍乃・江守 知保 (国立科学博物館)
- ・S-Net にまつわる Q&A
- ・閉会挨拶 神保 宇嗣 (国立科学博物館)

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。

下記のサイトより、お申し込みいただければ幸いです。

事前申し込み：

<https://forms.gle/eaNLsvQJL4zMEja26>

※受付後、改めて Zoom の URL をお知らせいたします。